



合は登録されたメディアを順次検索します。

## [主なコマンド]

以下の通りですが、詳しくは、“XDIR.HLP”を見て下さい。

### ●T

ドライブ名、メディア・タイプの変更。

**CTRL** 押下げて **A**~**Z** を押すと、ワンタッチでドライブ名の変更が可能です。

### ●W

ファイル名横複数表示 (スイッチ方式)。

### ●D

日時・ファイルサイズの表示 (スイッチ方式)。

MS-DOS 以外のメディアの場合グループ番号を表示します。

### ●I + GRPH コマンド

検索可能なメディアの情報を表示。

ライブラリ “XDIR.ENV” で登録メディアの変更した場合、正しく設定されたか、このコマンドで確認します。

### ●移動キー (→←↑↓ ROLLUP = INS ROLLDOWN = DEL)

現在指定ファイル変更。

## [使い方]

### ●すばやく移動

① F コマンドを実行し、ディレクトリ名のみを表示

② 目的のディレクトリに移動 (**SHIFT** 押し下げて高速スクロール)。

③ F コマンドを実行し、ファイル名を再表示。

### ●階層的ディレクトリを含むファイルのコピー

① アクティブ・ウィンドウ<1>で目的のファイルまたはディレクトリに移動し、“C”コマンドを実行。

ファイルを指定した場合は1個コピーします。

ファイルを指定し、以降のファイル・ディレクトリをコピーしたい場合は、**SHIFT** キー押し下げて“C”コマンドを実行します。

任意のファイルだけをコピーしたい場合は、あらかじめ“@”コマンドでマークを付けておきます。

② ウィンドウ<2>でファイルまたはディレクトリを選択し確定 (；)。

コピー先のウィンドウを開いていない場合は、ここで開いてください。

コピーできない場合は、エラー・メッセージが表示されます。

### ●階層的ディレクトリを含むファイルの削除

① 目的のファイル名またはディレクトリ名に移動し

## I/Oプラザ

Aug. 1990

146

▶よく、NECユーザーはロードランナー(死語?リセッターっていうのかな?)ばかりだと言われますが(確かにユーザー数が多い分、その傾向はある)、PC-88VAユーザーは明らかに違いますね、SHARPユーザーや富士通ユーザーが何か言っても、ちゃんと対抗できるポリシー(みたいなもの)を持っていますし、いわゆるNECユーザーの人とは別ものですね、私もNECユーザーですが、彼ら(VAユーザーのみなさん)のパワーには圧倒されっ放しです、MS-DOSエミュレータや、各種ツール類をPDSなどで発表し合って頑張っているみたいだし、ソフトが少ない

## おもなファイル

|            |                     |
|------------|---------------------|
| XDIR.EXE   | 実行ファイル              |
| XDIR.H     | ヘッダ・ファイル            |
| XDIR_S1.C~ | 分割 C ソース・リスト        |
| XDIR_S7.C  | (TurboC 2.0版)       |
| XDIR.HLP   | ヘルプファイル             |
| XDIR.ENV   | 環境ファイル (起動時に読み込まれる) |

DISK-BASIC バイナリ・ファイルまたはワープロ・データを ASCII データに変換する外部ファイル

|              |                                                  |
|--------------|--------------------------------------------------|
| 98_BAS.C     | PC-9801 BASIC バイナリ変換 C ソース・ファイル                  |
| 98_BAS.EXE   | 実行ファイル                                           |
| 98_BAS.DAT   | 変換テーブル・データ (中間コードと BASIC 命令の対応表)                 |
| 88_BAS.C     | PC-8801 BASIC バイナリ                               |
| 88_BAS.EXE   |                                                  |
| 88_BAS.DAT   | * 資料不足でやや不備な点あり                                  |
| S1_BAS.C     | 日立 S1, L3 BASIC バイナリ                             |
| S1_BAS.EXE   |                                                  |
| S1_BAS.DAT   |                                                  |
| X1_BAS.C     | シャープ X1-Turbo BASIC バイナリ                         |
| X1_BAS.EXE   |                                                  |
| X1_BAS.DAT   |                                                  |
| 98_TR3.C     | テラ 3 世クィーン形式ファイルを ASCII 変換。                      |
| 98_TR3.EXE   | * 資料不足でやや不備な点有り                                  |
| S1_WP.C      | 日立 S1 ワープロ文章を ASCII 変換                           |
| S1_WP.EXE    |                                                  |
| 98_UKARA.C   | PC-9801のユーカラ文章を ASCII 変換                         |
| 98_UKARA.EXE | 1 枚のディスク(全角文字しか入ってなかった)をたよりに解析したので不備な点が多々あると思います |

“K”コマンドを実行。

特定のファイルだけを削除したい場合はあらかじめマークを付けておいてください。

②確認して、“Ok”なら **Y** を押す。ディレクトリを指定した場合は、中のファイル・ディレクトリをすべて削除するので要注意。

削除できない場合エラー・メッセージが表示されます。詳しくは、“XDIR.HLP”を見て下さい。

## マルチメディア検索

### 対応ディスク

|               |          |                                                              |
|---------------|----------|--------------------------------------------------------------|
| MS-DOS        | 2HD, 2DD | ASCII, BASIC バイナリ                                            |
| NEC PC-9801   | 2HD, 2DD | BASIC                                                        |
| NEC PC-8801   | 2D       | BASIC                                                        |
| 日立 S1・L3      | 2HD, 2D  | BASIC, S1ワープロ                                                |
| シャープ X1ターボ    | 2D       | BASIC (サブ・ディレクトリ対応)                                          |
| ユーカラ(PC-9801) |          | ワープロディスクの読み込みは開発中ですが、解析の方法を理解してもらった意味で、不完全ですがライブラリの中に入れてあります |

《注》対応メディアの追加は、ライブラリ・ファイルの作成で可能。

## [ディスク検索のアルゴリズム]

ファイル管理のための FAT (ファイル・アロケーション・テーブル) やディレクトリのあるものは、解析テーブルを作成・登録しておき、ファイル・ツリーの作成や、ファイル内容の呼び出しのときに、それを参照します。

ただし、完璧な解析テーブルを作成しようとする、登録する情報の個数が莫大なものになるので、あるところで妥協せざるをえません。

内部ルーチンで解析できないメディアは、外部のプログラム・ルーチンを読み込んで解析を行なうようにしています。

以下、解析の方法を簡単に説明します。

詳しくはそれぞれの解析プログラムの C ソース・リストを見てください。

### ●タイプ1 DISK-BASIC ディスク

#### ①ファイル・ツリーの作成

登録データをもとに内部ルーチンによって作成。

#### ②BASIC バイナリ・データの ASCII 変換 (ASCII 形式で格納したものは不要)。

中間コード対応ファイルをもとに外部プログラムで変換します。

|               | 変換プログラム    | 中間コード対応表   |
|---------------|------------|------------|
| NEC の PC-9801 | 98_BAS.EXE | 98_BAS.DAT |
| NEC の PC-8801 | 88_BAS.EXE | 88_BAS.DAT |
| 日立の S1(L3)    | S1_BAS.EXE | S1_BAS.DAT |
| シャープの X1ターボ   | X1_BAS.EXE | X1_BAS.BAT |

#### データ変換の手続き

##### ①データが格納されているアドレスを受け取る。

ロング型で表現された文字列なのでファーポインタに変換します。

##### ②データを変換しながら同じアドレスに格納。

ただし、変換データの方がデータ量が多くなるので、あらかじめ全体のデータ位置を後方にずらすなどの工夫が必要です。

1 行の終わりにはヌル "0" を入れ、全体の終わりには終了コード "&H1A" を入れます。

### ●タイプ2 日立の S1 ワープロ

#### ①ファイル・ツリーの作成

登録データをもとに内部ルーチンによって作成。

#### ②文章の ASCII 変換

外部プログラム (S1\_BAS.EXE) で変換。

データ変換の手続きは、BASIC バイナリ変換とほぼ同じです。

ただし、変換データは縮小化されるので、データを前もってずらす必要はありません。

### ●タイプ3 ユーカラ (PC98)

#### ディスク読み出しの手続き

##### ①ファイル管理用の構造体 (pm) のポインタを受け取る。

ロング型で表現された文字列型なので、ファーポインタに変換します。

また、構造体 pm を参照するので "xdir.h" をインクルードします。

##### ②構造体のメンバの中からパラメータ (pm->tfmod) を受け取り、その値より、ファイル・ツリー作成か、データ読み出し・変換かを選択。

パラメータの値

|   |                                                                 |
|---|-----------------------------------------------------------------|
| 0 | ファイル・ツリーの作成<br>ファイル・ツリー情報を格納する構造体は親ルーチンで作成されているので、データの登録をするだけ   |
| 1 | ファイルデータの読み込み (16進ダンプなどで使用)<br>格納されているトラック・セクタ・セクタ数を計算してデータを読み込む |
| 2 | ファイルデータの読み込み、および、ASCII 変換<br>データ変換の手続きは BASIC バイナリ変換とほぼ同じ       |

## [ファイル変換のトラブルと対策]

##### ①C 言語はマシンを暴走させることのできるすばらしい言語であるという自覚をもって、変換ルーチンを作ってください。

メモリ・ダンプなどして、データ領域を確認します。とくに、終了条件に注意してください。

##### ②外部のプログラムおよびデータを読み込んで変換を行なう場合は、起動ディスクを抜かないでください。

読み込むプログラム、およびデータ・ファイルは起動ディスクの中か、カレント・ドライブになくはけません。

また、ファイル検索のパスを複数設定していると、MS-DOS 以外のディスクを検索した場合、ディスク・エラー (アボート) になる場合があります。他のメディアを検索し、ファイル変換を行なうような場合は、原則として "XDIR" 環境を、カレント・ドライブにおき、そこで起動するようにしてください。

\* \* \*

このプログラムは原則としてフリーソフトとしています。CAI の構築者である先生方をはじめと多く読者に活用していただきたいと思っているので、自由に機能の変更・追加をおこなってください。

また、ディスク・メディアのライブラリを追加すれば、手持ちの古きマイコンやワープロ機のディスクも読むことができるので試みてください。

なお、このプログラムを "より良きサービス・ソフ

から RAM640K に増設して、98 用ソフトを改造して動かしたり...、FM-11 ユーザーのように、少数派ですが骨までしゃぶってくれそうなパワーユーザーの方々ばかり、使われる VA も幸せものです。VA バンザイ!

## メディア検索のための登録データ

XDIR 環境ファイル "XDIR.ENV" の中に以下のデータを設定します。

|    |                                                                                                                             |   |                 |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-----------------|
| /O | ← データ設定の始まり                                                                                                                 |   |                 |
| ①  | メディア・ボリューム名 (dskvol)                                                                                                        |   |                 |
| ②  | バイナリBAS変換ファイル名 (exefna)                                                                                                     |   |                 |
| ③  | 変換テーブルファイル名 (datfna)<br>ASCII形式で作成された中間コードとBASIC命令との対応表                                                                     |   |                 |
| ④  | 変換ワイルド・ファイル名 (wildna)<br>対応メディアの数が多くなると、変換ファイルの数がそれに比例して多くなるので、他のメディアで使用するものとを識別するためのワイルド・カード                               |   |                 |
| ⑤  | ファイル・ツリー作成ファイル名 (dirfna)<br>内部ルーチンで検索可能なものはファイル名を "infile" とする。<br>外部プログラムで検索しなければならないものは、そのファイル名をここで登録する。                  |   |                 |
| ⑥  | メディア・タイプ識別文字列 (type)<br>あらかじめメディアの種類が分かっている場合、XDIR 起動時にオプション・スイッチの "/O 文字列" で最優先に検索してもらう。<br>その文字列を記憶しやすい文字列 (15文字以内) で登録する |   |                 |
| ⑦  | ユニット番号                                                                                                                      | ⑳ | グループギャップ・トラック   |
| ⑧  | ヘッド数                                                                                                                        | ㉑ | グループギャップ・プラス    |
| ⑨  | トラック総数                                                                                                                      | ㉒ | グループ値格納位置オフセット  |
| ⑩  | TPI (TrackPitch)                                                                                                            | ㉓ | グループ格納位置        |
| ⑪  | セクタ・サイズ                                                                                                                     | ㉔ | グループ番号上限        |
| ⑫  | トラックセクタ・サイズ                                                                                                                 | ㉕ | グループ最大数         |
| ⑬  | グループ・セクタ数                                                                                                                   | ㉖ | FAT ビット・サイズ     |
| ⑭  | DIR トラック                                                                                                                    | ㉗ | BASIC チェック位置    |
| ⑮  | DIR セクタ                                                                                                                     | ㉘ | and データ         |
| ⑯  | DIR セクタ数                                                                                                                    | ㉙ | 比較データ           |
| ⑰  | FAT トラック                                                                                                                    | ㉚ | バイナリ・チェック位置     |
| ⑱  | FAT セクタ                                                                                                                     | ㉛ | and データ         |
| ㉀  | FAT セクタ数                                                                                                                    | ㉜ | 比較データ           |
| ㉁  | メディア・チェック位置                                                                                                                 | ㉝ | ASCII チェック位置    |
| ㉂  | メディアチェック・データ                                                                                                                | ㉞ | and データ         |
| ㉃  | ディレクトリ・サイズ                                                                                                                  | ㉟ | 比較データ           |
| ㉄  | ファイル名位置                                                                                                                     | ㊱ | サブディレクトリ・チェック位置 |
| ㉅  | ファイル長                                                                                                                       | ㊲ | and データ         |
| ㉆  | ファイル・サイズ格納位置                                                                                                                | ㊳ | 比較データ           |
| ㉇  | グループ位置プラス                                                                                                                   | ㊴ | BASIC データ開始位置   |
| ㉈  | フラグ 1ビット目→ワード・データ反転 (80系と68系の違い)<br>2ビット目→漢字使用不可                                                                            |   |                 |
| /O | ← データ設定の終わり                                                                                                                 |   |                 |

各メディアごとに、以上のデータ・テーブルを繰り返します。

ト"にしたいと考えているので、不明な点や不備な点・不満な点などありましたら、連絡していただければ、バグ・フィックスおよびバージョン・アップでお答えしていきたいと思っています。

### 参考文獻

- 1) Turbo C マニュアル
- 2) パソコンファイル変換法 2, 3, 北森出版

## XDIR ヘルプファイル

### 書式

ディスクのための《XDIR》Version 4.1 Copyleft 1990.6 H.T

**書式** XDIR [<ドライブ名・バス名>] [<スイッチ>]  
**機能** DISKのファイル・ディレクトリを階層的に表示  
 サブディレクトリを含むファイルのコピーまたは削除  
 ファイルの実行・テキスト表示・内容の比較・16進数ダンプ  
 メディアの異なるディスクファイルを検索・アスキー変換表示・格納  
 マルチ・ウィンドウによる複数ドライブの分割表示  
 マウスやアップ・ダウン・メニュー操作によるコマンド実行  
 マクロ機能によるコマンドの連続実行

2つ以上指定した場合はマルチ・ウィンドウで分割表示される

(例) XDIR B: , XDIR A:USER , XDIR A: B:  
 MS-DOSの「DIR」と同様にドライブ・バス名の後に検索ファイル名を追加  
 スイッチの「/?ファイル名」と機能は同じ  
 (例) XDIR A:USRY\*.BAS  
 メディアタイプを指定  
 (例) XDIR A: /OS1 (日立S1ディスクとして最優先的に検索)

### 《起動時のオプション・スイッチ》

パラメーターの設定は順不同。ただし、ドライブ名を2つ以上指定した場合、2つ目以降はドライブ名以後のスイッチ内容が設定される  
 書式および設定内容は<コマンド・ライン>を参照

<ドライブ名・バス名>

ドライブ名とバス名を指定  
 省略した場合はカレント・ドライブのカレント・ディレクトリに設定される

### 《コマンドの使い方》

《コマンド》 (アルファベット順)

| コマンド [キー] | 機能                                                         |
|-----------|------------------------------------------------------------|
| A         | アトリビュート属性の表示スイッチ <Attribute><br>R (読み専用ファイル) S (システム・ファイル) |

|   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|   | H (隠しファイル) A (アーカイブ・ファイル)<br>MS-DOSメディア以外のディスクの場合<br>Ba (Basicファイル) Bi (バイナリ・ファイル)<br>Dt (データ・ファイル) As (アスキー・ファイル)<br>+ [SHIFT] アトリビュート属性を変更する<br>「R」「H」「S」を指定 (設定・解除はスイッチ方式)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ディレクトリの場合、その内部のすべてのファイルを削除<br>[Y/N] (またはメニュー選択) で確認。[ESC] で中止                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| B | マルチドライブの画面表示を1つに統合する <Break><br>ウィンドウの切り替えは「>」「<」コマンドで行なう<br>[+] コマンドでマルチウィンドウ表示にもどる                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | トラック内容を1回ダンプ表示 <Load><br>メディアの異なるディスクの内容も呼びだしできる<br>(1) ドライブ名を入力 ( [ESC] で終了 )<br>ドライブ名が現在表示ドライブと異なる場合、<br>続いてメディアタイプを入力<br>(2) トラック番号を入力 ( [ESC] で終了 )<br>(3) ダンプ中、[ESC]でトラック番号入力(2)へもどる<br>他の任意のキー入力でのページを表示<br>エラーが発生した場合[ESC]でトラック番号入力(2)へ                                                                                                                        |
| C | 現在指定行のファイルをコピー <Copy><br>ディレクトリを指定した場合はそれより内部を全てコピー<br>相手ウィンドウでコピー先のドライブ名ディレクトリ名を<br>選択。相手ウィンドウが開かれていない場合、ドライブ名を<br>入力し、ウィンドウを開く。コピーファイルが1個の場合は<br>指定先がファイルでもよい<br>現在行がマークの付いたファイルの場合、以降のマークの<br>付いたファイルだけをコピーする。指定先はディレクトリ<br>とする。コピー先のファイルにはマークが付加される<br>コピー先に同名のファイルがあり、タイムスタンプが同じ<br>か新しい場合、コピーするかの確認 [Y/N] とする<br>[ESC] で中止<br>+ [SHIFT] 現在指定ファイル以降のファイル・ディレクトリをコピー<br>コピーは、マウス・クリックか [ESC] で中断できる                                                                                                                                                                                                | MS-DOSのコマンドを実行 <MS-DOS><br>コマンドラインを入力する。 [ESC] で中止<br>(COMMAND.COMがロードできる環境でないとき実行できない)                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|   | + [GRAP] ディスクのコピー。PC98・日立S1などMS-DOS<br>以外の2HD・2DDディスクのコピーも可能<br>転送元ドライブ名と転送先ドライブ名を指定<br>エラーが発生した場合、[ESC]で中止、その他のキーで継続<br>(フォーマット未処理エラーの場合フォーマットしながら<br>のコピーに変わる)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | + [SHIFT] 実行マクロ・コマンド列を0~9より選択 <Macro><br>[ESC] で中止<br>+ [GRPH] マクロ・コマンド文字列の変更・追加の後、コマンド実行<br>0~9より選択し、コマンドを連結した文字列を入力する<br>実行マクロ・コマンド文字列を0~9より選択する<br>小文字を入力する場合はあらかじめ [ATPR] で入力モード<br>を変更してから行なう (マクロ・コマンドを参照)<br>初期設定として以下のマクロが登録されている<br>(0) ファイル名でソートし、続いて拡張子でソートする<br>(1) 2分割表示のウィンドウを上下分割表示に変更<br>(2) [G]コマンドの検索名をマーク付きファイルに設定<br>(3) [/?]検索表示ファイル名をマーク付きに変更する |
| D | ファイルのサイズ・日時表示スイッチ <Date><br>+ [SHIFT] ディレクトリの日時表示スイッチ<br>+ [GRAP] サブディレクトリを作成 <Directory><br>ディレクトリ名を入力                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | N 現在行のファイル名を変更する <Name><br>ファイル名を入力 (ファイル名の前にパスを指定した場合は<br>他のディレクトリにファイルを移す。パス名だけ入力し<br>ファイル名を省略した場合は同じ名前前で移動する)                                                                                                                                                                                                                                                      |
| B | テキストファイルの編集 <Edit><br>ディレクトリ行で指定した場合、そのディレクトリの中に<br>新しいファイルを作成。ファイル名を入力する<br>[編集モードのコマンド]<br>( [ESC] 設定後、または [CTRL] 押下で以下のキーを押す )<br>[C] 表示色の変更 ([CTRL] 押下は使用してはいけない)<br>行番号・テキスト部・テキスト次行のみ出し部の色<br>を1~31の範囲の値で設定 ([/C] コマンド参照)<br>[E] テキストをセーブして終了<br>[G] 指定した行へ移動<br>[I] 挿入・上書きモードの切り替え ([INS] に同じ)<br>[K] カーソル位置から行末までカット<br>[L] カーソル行へカット・パッチ行を挿入<br>[P] プリンターに出力 (印字の書式を設定)<br>[Q] 編集を終了<br>[S] 表示スタイルの変更<br>[T] タブの表示スイッチ<br>[W] テキストのセーブ<br>[?] テキスト表示モードへ ([CTRL] 押下は動作しない)<br><F6> 行範囲指定<br>[SHIFT] 押下ではキャラクター単位の指定になる<br><F7> 行範囲をカットしパッチ領域へ格納<br><F8> 行範囲をパッチ領域へ格納<br><F9> パッチ内容をカーソル行へペースト | O ファイルにファイル・ツリーをテキスト出力 <Out><br>ファイル名を入力。 ( 中止はリターンのみ入力か [ESC] )                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| P | ディレクトリ行で指定した場合、そのディレクトリの中に<br>新しいファイルを作成。ファイル名を入力する<br>[編集モードのコマンド]<br>( [ESC] 設定後、または [CTRL] 押下で以下のキーを押す )<br>[C] 表示色の変更 ([CTRL] 押下は使用してはいけない)<br>行番号・テキスト部・テキスト次行のみ出し部の色<br>を1~31の範囲の値で設定 ([/C] コマンド参照)<br>[E] テキストをセーブして終了<br>[G] 指定した行へ移動<br>[I] 挿入・上書きモードの切り替え ([INS] に同じ)<br>[K] カーソル位置から行末までカット<br>[L] カーソル行へカット・パッチ行を挿入<br>[P] プリンターに出力 (印字の書式を設定)<br>[Q] 編集を終了<br>[S] 表示スタイルの変更<br>[T] タブの表示スイッチ<br>[W] テキストのセーブ<br>[?] テキスト表示モードへ ([CTRL] 押下は動作しない)<br><F6> 行範囲指定<br>[SHIFT] 押下ではキャラクター単位の指定になる<br><F7> 行範囲をカットしパッチ領域へ格納<br><F8> 行範囲をパッチ領域へ格納<br><F9> パッチ内容をカーソル行へペースト                       | P ファイル・ツリーをプリンターに出力 <Print><br>[ESC] で中止<br>キャラクター簡易書線で表示<br>(漢字書線が出力できない環境で指定)                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| P | ファイル名表示のスイッチ (表示←→非表示) <File>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | Q プログラム終了 <Quit><br>[Y/N] またはメニュー選択で確認<br>+ [SHIFT] 現在指定のドライブ・ディレクトリに移動して終了<br>カレントドライブを変更したい場合、ここで [N] により<br>終了を中止する。(確認は [I] コマンドで)                                                                                                                                                                                                                                |
| G | 指定したファイル名の行へ移動する <Goto><br>ファイル名には「*?」のワイルド表現を含むことができる<br>マークの付いたファイルの検索はファイル名を「@.@」と<br>する (前方への検索)<br>+ [SHIFT] 後方へ検索<br>[CAPS] がロック ( 検索ファイル名の設定変更あり )<br>アンロック ( 検索ファイル名の設定変更なし )                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | R 現在指定行ファイルのチャイルド実行 <Run><br>コマンドラインの入力 (ない場合はリターンのみ入力)<br>実行出来ないファイルを選択した場合コマンド入力になる<br>[ESC] で中止<br>+ [SHIFT] EXEC を実行 (オーバーレイ)                                                                                                                                                                                                                                     |
| H | 予約コマンド (FORMAT, DISKCOPY など) の実行<br>予約コマンドの変更・追加設定と実行<br>(COMMAND.COMがロードできる環境でないとき実行できない)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | S ファイルのツリー表示順序を並び変える <Sort><br>ソートキー<br>[N] ファイル名 [E] 拡張子 [D] 日時 [L] ファイル長<br>[C] キャンセル (初期検索時に戻す)<br>(メニュー使用の場合、0~4 または マウスで選択)<br>+ [SHIFT] ツリー上のファイル交換<br>同じディレクトリ内の相手ファイルを選択する                                                                                                                                                                                    |
| I | XDIRマップの表示とウィンドウの変更 <Information><br>(現在のカレント・ドライブ名も表示。変更は[J]コマンド)<br>アクティブ・ウィンドウ (窓) 番号を0~9の範囲で入力<br>(1桁入力) その他のキー入力でもキャンセルされる<br>MS-DOSシステムのメモリー・マップを表示<br>任意のキー入力でも復帰                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | T アクティブ・ウィンドウのドライブり変更 <Transfer><br>メニューにより選択<br>+ [GRAP] メディア (OS) の異なるディスクを検索する<br>メディアタイプを入力 ( [ESC] で終了 )                                                                                                                                                                                                                                                         |
| J | 登録されたメディア (OS) の異なるディスク情報を表示<br>[ESC] で終了。「/」で現在メディアの情報表示<br>「↑ + Return」のキーで登録された情報を順次表示<br>「↑ + Space」のキーで逆順表示。[ESC] で終了                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | U 親ディレクトリに移動 (ポップ・アップ) <Up><br>指定行が先頭でサブ・ディレクトリの場合、親ディレクトリ<br>より再検索する                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| K | 現在指定行のディレクトリより内部を表示 <Jump><br>現在指定行のディレクトリへカレントを変更 ( CHDIR )                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | V ボリューム名表示スイッチ <Volume><br>[目隠りなときは消去する]<br>+ [SHIFT] 枠情報のみ出し部分の最下ライン表示スイッチ<br>ウィンドウの枠が小さくて枠下線に表示できない場合、<br>ウィンドウ外の最下ライン部に表示する                                                                                                                                                                                                                                        |
|   | 現在指定行のディレクトリより内部を表示 <Jump><br>現在指定行のディレクトリへカレントを変更 ( CHDIR )                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | W ファイルの横複数表示スイッチ <Wide>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|   | 登録されたメディア (OS) の異なるディスク情報を表示<br>[ESC] で終了。「/」で現在メディアの情報表示<br>「↑ + Return」のキーで登録された情報を順次表示<br>「↑ + Space」のキーで逆順表示。[ESC] で終了                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | X メモリー・ダンプ (セグメント値を入力)<br>[S] でセグメント変更。[P] でプリンター出力<br>[ESC] で中止、その他のキーで1ページ進む<br>+ [SHIFT] 現在システムのMCB・PSPセグメントよりダンプ                                                                                                                                                                                                                                                  |
|   | 現在指定行のディレクトリより内部を表示 <Jump><br>現在指定行のディレクトリへカレントを変更 ( CHDIR )                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | + [GRAP] 直接プリンターへ出力                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|   | ファイル・サブ・ディレクトリの削除 <Kill><br>指定行がファイルの場合、そのファイルだけを削除する<br>指定行がマークの付いたファイルの場合、現在行以降の<br>マークの付いたファイルだけを削除する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | Y 総クラスター数を指定したバイト数で計算。<br>現在表示ドライブの使用クラスター数を仮計算すること<br>によりディスクからハードディスクへコピーする場合どれ<br>だけの空容量が必要かわかる                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|   | ファイル・サブ・ディレクトリの削除 <Kill><br>指定行がファイルの場合、そのファイルだけを削除する<br>指定行がマークの付いたファイルの場合、現在行以降の<br>マークの付いたファイルだけを削除する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | Z 直前実行したコマンドを再実行                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|   | 現在指定行のディレクトリより内部を表示 <Jump><br>現在指定行のディレクトリへカレントを変更 ( CHDIR )                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | e 現在指定行ファイルのマーク・スイッチ (設定←→解除)<br>設定後 1行前進 (ファイルのコピーや削除で活用する)                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |

|                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| + [SHIFT]<br>+ [GRPH]               | マウスを左クリックしながら右クリックするとマーク設定<br>設定後 1行後退<br>全マークを解除 ([Y/N] またはメニュー選択で確認)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                       |
| b [↑]<br>+ [SHIFT]                  | 1行後退 (上方)<br>[SHIFT]押下で3行飛び越しの高速移動                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                       |
| c [TAB]                             | マウスやカーソル移動キーの機能モードを順次変更する<br>現在の機能状態は左上隅に表示される<br>ポップメニューの1~4でも選択できる<br>〔マウス〕マウスは自由に移動でき、各種のマウス操作が<br>可。カーソル移動キーは行移動の機能を持つ<br>マウスが使用できない環境では、〔行移動〕と<br>表示される<br>〔枠移動〕 ウィンドウを移動する<br>〔左上隅〕 ウィンドウの左上隅を基点として、ウィンドウ<br>を拡大・縮小する<br>〔右下隅〕 ウィンドウの右下隅を基点として、ウィンドウ<br>を拡大・縮小する                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | [G] .....<br>[M] .....<br>[P] .....<br>マルチテキスト表示中のメモリーマップ<br>プリンターに出力 .....〔印刷〕<br>・タブ値を設定 (リタンだけは8が設定)<br>・タブを指定した数の半角スペースに変換<br>2桁入力方式で1桁の場合は確定にリタン<br>が必要。2桁の場合はリタンは不要<br>・行番号の桁数を入力 (不要な場合は0)<br>・印字幅を3桁入力方式で設定 | その部分を表示 (ファイル内容が連続5行<br>等しいとき等しいと判断する)<br>ファイル表示に戻ったときに指定された色<br>で表示されているので確認できる<br>ESCで中止。他の任意のキー入力でも継続<br>指定した行へ移動 .....〔行飛〕<br>マルチテキスト表示中のメモリーマップ<br>プリンターに出力 .....〔印刷〕                                                            |
| d [RD] [DEL]<br>+ [SHIFT]           | 半ページ巻下し (後退) (RD = Roll Down)<br>[RollDown]キーの位置は使いにくいので [DEL]キーでも<br>操作できるようにしてある<br>[SHIFT]押下でテキスト画面転送による高速スクロール                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                     | [S] .....<br>[U] .....<br>[V] .....<br>表示スタイルの変更 .....〔書式〕<br>表示画面の最下ラインを上げる<br>[SHIFT]押下で最上位ラインを上げる<br>ラインの行数を変更 .....〔行数〕<br>画面表示行数を20,25に変更するスイッチ<br>全体的に漢字が多くて読みづらいときなど<br>に2.0行表示にする。再度設定すると2.5<br>行表示にもどる<br>このコマンドは全体表示のときのみ有効 |
| e [SHIFT]+HOME                      | ファイル全体の末尾に移動。 ([.] コマンドと同じ)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                     | [Z] .....<br>[>] .....<br>[<] .....<br>表示画面の変更<br>窓表示←全体表示<br>表示ウィンドウの変更<br>表示ウィンドウの変更 (逆順)                                                                                                                                           |
| f [↓]<br>+ [SHIFT]                  | 1行前進 (下方)<br>[SHIFT]押下で3行飛び越しの高速移動                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                     | その他のキーで1ページ前進<br>メモリー不足で長いファイルの逆スクロールができなく<br>なる場合あり<br>[GRPH]押下で起動すると直接プリンターへ出力<br>指定行のファイル内容を16進ダンプ表示<br>[BSC] ..... 終了または中止 .....〔中止〕<br>[S] ..... はじめから .....〔書式〕<br>[P] ..... プリンターに出力 .....〔印刷〕<br>その他のキーで1ページ (256Byte) 前進     |
| h [HELP]                            | ヘルプ画面表示。表示画面の操作は [?] コマンドと同じ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                       |
| j [HOMECLR]                         | ファイル全体の先頭に移動                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                       |
| l [←] [BS]<br>+ [SHIFT]<br>+ [CTRL] | 左移動。1行に複数のファイルを表示した場合の横移動<br>罫線段落と幅を縮小<br>サブ・ディレクトリ表示の深さを縮小する                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                       |
| m [f-10]                            | ポップ・アップ・メニュー                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                       |
| q [BSC]                             | 中止 (メイン・ルーチンでは [Q] コマンドと同じで終了)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                       |
| r [→]<br>+ [SHIFT]<br>+ [CTRL]      | 右移動。1行に複数のファイルを表示した場合の横移動<br>罫線段落と幅を拡大<br>サブ・ディレクトリ表示の深さを拡張 (初期設定値以内)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                       |
| u [RU] [INS]<br>+ [SHIFT]           | 半ページ巻上げ (前進) (RU = Roll Up)<br>[RollUp]キーの位置は使いにくいので [INS]キーでも操作<br>できるようにしてある。ただし、[INS] はオート・リピート<br>機能がないので押し放しをくりかえす<br>[SHIFT]押下でテキスト画面転送による高速スクロール                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                       |
| x [XPBR]                            | 文字列入力モードを切り替える<br>[B] [G] [T] コマンドにおける文字列入力において、初期<br>設定は大文字入力 (マウス対応) モードになっている。<br>このモードでは [?] [↓] [↑] は [SHIFT] キーを押さない<br>で入力するようになる。<br>[XPBR] キーを押すと、カナ・小文字・漢字入力モード<br>(一般的な文字列入力状態。マウス対応でない) になる。<br>このとき、XDRの環境として2ページ目を使用し<br>ている場合、入力中は1ページに戻る。(PEPが2ページ<br>目に対応してない)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                       |
| >                                   | マルチ表示のアクティブ・ウィンドウを切り替える                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                       |
| <                                   | [>] コマンドと逆ローテーションに切り替える                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                       |
| Space                               | 現在の画面を表示し直す<br>(ディスク交換したときや、画面が乱れたときに利用)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                       |
| : [Return] [:]                      | 確定                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                       |
| ?                                   | 指定行のファイル内容をテキスト表示<br>指定した桁数で1行以内に表示できないときは、次の行に<br>緑色で表示される (行番号は同じ) <↓マウス左><br>アスキーファイル以外は変換を必要とするので変換用実行<br>ファイルを選択する (メニュー形式で画面に表示される)<br>[BSC] ..... 終了または中止 .....〔中止〕<br>[Return] ..... 1ページ前進 .....〔真退〕<br>[RU] [INS] ..... 半ページ前進 .....〔半退〕<br>[↓] ..... 1行前進 .....〔行退〕<br>[Space] ..... 1ページ後退 .....〔真退〕<br>[RD] [DEL] ..... 半ページ後退 .....〔半退〕<br>[↑] ..... 1行後退 .....〔行退〕<br>[→] ..... テキスト右部を表示 (左ヘスクロール)<br>[←] ..... テキスト左部を表示 (右ヘスクロール)<br>[C] ..... 表示色の変更 .....〔いろ〕<br>行番号・テキスト部・テキスト次行はみ出し<br>部の色・ファイル比較の変更部を1~3i<br>([C]コマンド参照)の範囲の値で設定<br>[D] ..... 表示画面の最下ラインを下げる<br>[SHIFT]押下で最上位ラインを下げる<br>[E] ..... テキストの編集モードへ<br>編集モードでの機能は [B]コマンドを参照<br>[F] ..... ファイルの内容比較<br>開かれたウィンドウで相手ファイルを指定<br>文字列に違いがあった場合指定した色で |                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                       |
|                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                     | J (ジャンプ) コマンドで設定したのを解除                                                                                                                                                                                                                |
|                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                     | ウィンドウを新しくオープンする (マルチドライブ表示)<br>ドライブ名を入力する (リタンのみ入力した場合、<br>カレント・ドライブ+ディレクトリに設定される)<br>メモリーの許す限り最大10個までオープンできる<br>ウィンドウの再配置・再構成をしない                                                                                                    |
|                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                     | アクティブ・ウィンドウをクローズする<br>( [Y/N] またはメニュー選択で確認 )<br>ウィンドウの再配置・再構成をしない                                                                                                                                                                     |
|                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                     | 起動時のスイッチ内容を変更 ( コマンドラインを入力 )                                                                                                                                                                                                          |
|                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                     | ファイル表示をワイルド (*.*) にもどす<br>検索表示ファイル名を変更 ([?] コマンドと同じ)                                                                                                                                                                                  |
|                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                     | ファイル全体の末尾に移動、 ([e] コマンドと同じ)                                                                                                                                                                                                           |
|                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                     | 1 [f-1] .....<br>2 [f-2] .....<br>3 [f-3] .....<br>4 [f-4] .....<br>5 [f-5] .....<br>6 [f-6] .....<br>ダウン・メニュー 1 [ OS ]<br>2 [ ドライブ ]<br>3 [ 表示環境 ]<br>4 [ カーソル ]<br>5 [ ファイル ]<br>6 [ 補助機能 ]                                         |
|                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                     | [>] コマンドと同じ ( Ver 1.5 , 2.0 との互換性で<br>残してある )<br>[+] コマンドと同じ<br>[B] コマンドと同じ                                                                                                                                                           |
|                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                     | [ ] 内は割り当てキー (英大文字・数字で表されたコマンドは同形なので省略)                                                                                                                                                                                               |
|                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                     | [A]~[Z]<br>+ [CTRL]<br>指定ドライブの変更 ([CTRL]押下で英文字をキーン)<br>[CAPS] がロック ( ルートより検索 )<br>アンロック ( カレントより検索 )<br>[SHIFT] キー押下で [CAPS] ロックと同じ<br>[f#] キーロックの場合は検索条件を初期化する                                                                       |

### 〈オプションの指定〉

|                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 〔コマンドライン〕                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 〔書式〕 / [環境指定文字] [環境設定内容]<br>大文字と小文字は指定色・キー・マーク設定など)の違いがある |                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| /Bn1,n2,n3                                                | (Beep)<br>ビープ音の音程音長を指定する<br>[機能の区別コード]<br>0:メッセージ (デフォルト) n2 = 300, n3 = 20<br>1:警告 n2 = 999, n3 = 10<br>2:機能選択応答 n2 = 200, n3 = 20<br>3:マクロ実行 n2 = 30, n3 = 10<br>n2 [音の高さ] 0 (低音) 1 (高い) ~ 数字大 (低い)<br>n3 [音の長さ] 0 (短音) 1 (長い) ~ 数字大 (長い)<br>音の長さは (n2×n3) できる |
| /hC文字列                                                    | [H]コマンドで使用するコマンド・バーの内容を設定 (bar)                                                                                                                                                                                                                                  |
| /hW文字列                                                    | [W]コマンドで使用する マクロ・バーの内容を設定                                                                                                                                                                                                                                        |
|                                                           | 書式 (区切りに、* を用いて、コマンド文字列を並べる)                                                                                                                                                                                                                                     |

▶先日、5/20アキバのTOWNSプラザヘダー・タワーウエスの[AVA]の発表会(試穿会?)を見に行きました。12:50頃になるとデーターウエスの社員や客でプラザ一杯になりました。1:00になり、社員の方から簡単な説明を受けた後、プラザにあるTOWNSを全部使って、[AVA]のデモンストレーション版をプレイしました。感想は…うーん、すごい、絵はとってもキレイだし、アニメーションも多すぎこちない点を除

(例 /b/c\$XDIR \* .EXESFORMAT D: /M /S )

|                                                                                                                                                    |             |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| /CnIn2n3n4n5n6n7n8n9n10n11n12 (Color)                                                                                                              |             |
| アクティブ・ウィンドウ内の各パラメータ表示色を設定<br>色コード0~7を指定。8を加えた値(89ABCDEF)を指定した場合反転表示<br>n1からの色指定は何個でもよい<br>/c(小文字)はブリンク表示(0~9ABCDEFに16を加えた値)                        |             |
| n1 [現在指定ファイル名]                                                                                                                                     | (E) 黄色反転    |
| n2 [罫線]                                                                                                                                            | (7) 白       |
| n3 [サブ・ディレクトリ名]                                                                                                                                    | (6) 黄色      |
| n4 [ファイル名]                                                                                                                                         | (7) 白       |
| n5 [ファイル・サイズ]                                                                                                                                      | (7) 白       |
| n6 [日付]                                                                                                                                            | (7) 白       |
| n7 [時間] /FD で指定した場合のみ有効                                                                                                                            | (7) 白       |
| n8 待機(スリープ)画面の表示色を設定                                                                                                                               | (5) 水色      |
| n9 [外枠]                                                                                                                                            | (4) 緑       |
| n10 [枠内]                                                                                                                                           | (7) 白       |
| n11 [枠内ファイルなしメッセージ]                                                                                                                                | (7) 白       |
| n12 [マーク設定ファイル・ディレクトリ名]                                                                                                                            | (4) 緑反転     |
| 「.」指定でパス(以前の値は保存される)<br>/C:<番号>.<色コード>[:<番号>.<色コード>]でも設定できる                                                                                        |             |
| /Dn サブ・ディレクトリ表示の深さを指定する(n = 0~15) (Deep)                                                                                                           |             |
| デフォルトの値は15(最大の深さに設定)                                                                                                                               |             |
| /En1~n24 (Environment)                                                                                                                             |             |
| 表示画面の表示色を設定<br>/e(小文字)はブリンク表示(0~9ABCDEFに16を加えた値)                                                                                                   |             |
| [初期値]                                                                                                                                              |             |
| n1 [ウィンドウのバック・グラウンド全体]                                                                                                                             | (F) 白色反転    |
| n2 [マウス・カーソル(現在バック画面の反転)]                                                                                                                          | (6) 黄色      |
| n3 [XDIRタイトル表示バー全体]                                                                                                                                | (D) 水色反転    |
| n4 [XDIRバーの(HBLP)表示部分]                                                                                                                             | (C) 緑反転     |
| n5 [XDIRバーの時間表示部分]                                                                                                                                 | (D) 水色反転    |
| n6 [ポップ・ダウン・メニューの全体]                                                                                                                               | (D) 水色反転    |
| n7 [ポップ・ダウン・メニューのタイトル部分]                                                                                                                           | (C) 緑反転     |
| n8 [ポップ・ダウン・メニューの指定部分]                                                                                                                             | (8) 黄色反転    |
| n9 [メッセージ・ライン]                                                                                                                                     | (1D) 黄色反転点滅 |
| n10 [ファイル検索中外枠]                                                                                                                                    | (5) 黄色      |
| n11 [ファイル検索中XDIRの文字]                                                                                                                               | (5) 水色      |
| n12 [DISKエラー・メッセージ]                                                                                                                                | (C) 緑反転     |
| n13 [選択メッセージ(ソート順、Y/N)]                                                                                                                            | (D) 水色反転    |
| n14 [マウス・キーボード]                                                                                                                                    | (F) 白色反転    |
| n15 [文字列入力カバーコマンド部]                                                                                                                                | (D) 水色反転    |
| n16 [文字列入力カバー入力部]                                                                                                                                  | (8) 黄色反転    |
| n17 [XDIR終了メッセージ]                                                                                                                                  | (D) 水色反転    |
| n18 [マクロ実行中のコマンド表示]                                                                                                                                | (8) 黄色反転    |
| n19 [ファイルチェック表示の行番号]                                                                                                                               | (5) 水色      |
| n20 [ファイル表示のテキスト部]                                                                                                                                 | (7) 水色      |
| n21 [ファイル表示の次行のみ出しテキスト部]                                                                                                                           | (4) 緑色      |
| n22 [ファイル内容比較の変更部]                                                                                                                                 | (6) 黄色      |
| n23 [ファイル表示のタブ値]                                                                                                                                   |             |
| n24 [ファイル表示の行番号表示有無]                                                                                                                               |             |
| 「.」指定でパス(以前の値は保存される)<br>/E:<番号>.<色コード>[:<番号>.<色コード>]でも設定できる                                                                                        |             |
| /F ファイル名を表示(1行に1個ずつ) (File)                                                                                                                        |             |
| /FC ファイル名を表示しない                                                                                                                                    |             |
| /FD ファイルのサイズ・日付・時刻を表示(スイッチ形式)                                                                                                                      |             |
| /FN ファイルを横に複数個表示                                                                                                                                   |             |
| /PS システム・不可視ファイルを表示(スイッチ形式)                                                                                                                        |             |
| /FA ファイルのアトリビュート属性を表示                                                                                                                              |             |
| /Gn グラフィック画面の表示有無を設定 (Graphic)                                                                                                                     |             |
| n = 0 (表示しない、デフォルト)                                                                                                                                |             |
| n = 1 (表示する、アプリケーション実行において必要な場合設定)                                                                                                                 |             |
| /Hn 段落としの罫線幅を指定(n = 1~40) (Horizon)                                                                                                                |             |
| デフォルト値は8(マルチウィンドウ表示の場合初期値は1)                                                                                                                       |             |
| /Iファイル名 (Include)                                                                                                                                  |             |
| マクロ・コマンドの文字列をアスキー・ファイルにしたものを取り込み、順次実行する                                                                                                            |             |
| /K文字列(キー・マクロ) (Key)                                                                                                                                |             |
| コマンド・キーの文字列をマクロ・コマンドとして実行する                                                                                                                        |             |
| /Lファイル名 (Load)                                                                                                                                     |             |
| アスキー・ファイルを取り込むことにより、XDIRの環境を設定<br>[アスキー・ファイルの書式] 1行単位にコマンド・ラインを連記<br>/B4.....5 (背景色の変更)<br>/Z8 (ウィンドウ・ズーム・ピッチの変更)<br>/P2 (表示ページを2ページに変更)           |             |
| /Mn マウス設定および移動ドット比を設定(n = 0~32767) (Mouse)                                                                                                         |             |
| 値が小さいほど感度が高く、大きくなると鈍くなる<br>デフォルトは5(狭いディスクで操作できるように感度をよくしてある)<br>値が0のときはマウス使用を停止(マウスドライバーが設定されていない場合や、独自のドライバーが設定されているため、正常に動作しない場合は/NOでマウス使用を禁止する) |             |
| /N文字列 ドライブ検索中の拡大タイトル文字を設定 (Name)                                                                                                                   |             |
| デフォルトは全角文字[XDIR]。文字数は全角4文字(半角8)まで<br>全角2文字(半角4文字)の場合、全フォント表示<br>全角4文字(半角8文字)の場合、横縮小フォント表示                                                          |             |

|                                          |                                                              |
|------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|
| /O文字列                                    | メディアのタイプを文字列で指定することで優先的に (Option)                            |
| /O+                                      | 検索を始める。指定しない場合は登録タイプ順に検索する                                   |
| /O-                                      | メディアをMS-DOSに限定することで無駄な検索をカットする                               |
| /O*                                      | メディアタイプをMS-DOSに限定しない(/O-の解除)                                 |
| /O                                       | (デフォルトはMS-DOSタイプより登録メディアの全てを検索)                              |
| 他のメディア                                   | (O/S) 検索のためのディスク情報を設定                                        |
| 文字列                                      | /Oで設定を開始し、/OJで設定を終了する                                        |
| (1)                                      | メディア・ボリューム選択名 PC98-DSK 例(PC-9801)                            |
| (2)                                      | バイナリBAS変換プログラム 98_BAS.EXE                                    |
| (3)                                      | 中間コード変換テーブル 98_BAS.DAT                                       |
| (4)                                      | 変換ワイルドファイル名 98*.*                                            |
| (5)                                      | ツリー作成・変換プログラム infile(内部ルーチンで処理可)                             |
| (6)                                      | メディア・タイプ識別文字列 MS_98_98D.S1.L3.X1                             |
| (7)                                      | ユニット番号 90H(2HD) 10H(2DD)                                     |
| (8)                                      | ヘッド数 2(両面) 1(片面)                                             |
| (9)                                      | トラック総数 154 160 80                                            |
| (10)                                     | TPI(Track-Par-Inch) 1(ダブルトラック) 0(シングル)                       |
| (11)                                     | セクター・サイズ 3(1024) 2(512) 1(256) 0(128)                        |
| (12)                                     | トラック・セクター・サイズ 8(MS-DOS) 26(2HD) 16(2DD, 2D)                  |
| (13)                                     | グループ・セクター数 8(MS-DOS) 26(2HD) 8(2DD, 2D)                      |
| (14)                                     | ディレクトリ・トラック 70                                               |
| (15)                                     | ディレクトリ・セクター 1                                                |
| (16)                                     | ディレクトリ・セクター数 10                                              |
| (17)                                     | FATトラック 70                                                   |
| (18)                                     | FATセクター 24                                                   |
| (19)                                     | FATセクター数 3                                                   |
| (20)                                     | メディア・チェック位置 255(使用しない場合)                                     |
| (21)                                     | メディア・チェック・データ D(dir(18)) = D(19)                             |
| (22)                                     | ディレクトリ・サイズ 32(MS-DOS.S1) 16(PC98)                            |
| (23)                                     | ファイル名位置 0 1(KI-Turbo)                                        |
| (24)                                     | ファイル名 8(MS-DOS.S1) 6(PC98)                                   |
| (25)                                     | ファイル・サイズ格納位置 255(なし)                                         |
| (26)                                     | グループ位置プラス 0, 2(S1)                                           |
| (27)                                     | グループ・ギャップ・トラック 0, 1(S1)                                      |
| (28)                                     | グループ・ギャップ・プラス 0, 1(S1)                                       |
| (29)                                     | グループ値格納FAT開始 0, 1(S1)                                        |
| (30)                                     | 使用グループ値格納位置 10                                               |
| (31)                                     | グループ番号上限 COH                                                 |
| (32)                                     | グループ使用可能数 160                                                |
| (33)                                     | FATビット・サイズ 8                                                 |
| (34)                                     | Basicチェック位置 dir(D(34)) and D(35) = D(36)                     |
| (35)                                     | ANDデータ                                                       |
| (36)                                     | 比較データ                                                        |
| (37)                                     | バイナリ・チェック位置 dir(D(37)) and D(38) = D(39)                     |
| (38)                                     | ANDデータ                                                       |
| (39)                                     | 比較データ                                                        |
| (40)                                     | アスキー・チェック位置 dir(D(40)) and D(41) = D(42)                     |
| (41)                                     | ANDデータ                                                       |
| (42)                                     | 比較データ                                                        |
| (43)                                     | サブディレクトリチェック位置 dir(D(43)) and D(44) = D(45)                  |
| (44)                                     | ANDデータ                                                       |
| (45)                                     | 比較データ                                                        |
| (46)                                     | Basicデータ 開始位置 0, 3(S1)                                       |
| (47)                                     | フラグ 1ビット目 → ワード反転(0(80系) 1(68系))<br>2ビット目 → 漢字使用不可(S1, L3は1) |
| 各メディアごとに(1~47)のデータ設定のくりかえし<br>/O (設定終了行) |                                                              |

|                                                           |                                          |
|-----------------------------------------------------------|------------------------------------------|
| /Pn                                                       | 表示テキスト画面のページを指定 (Page)                   |
| n=1                                                       | (1ページを使用、デフォルト)                          |
| n=2                                                       | (2ページを使用、現在表示画面を壊したくない場合設定する)            |
| /Rn                                                       | マクロ・コマンド実行中の休止間隔を100ミリ秒単位で設定 (Rest)      |
| (n = 1~100)                                               | デフォルトは1 (= 100 nS)                       |
| /SN                                                       | ファイルの表示順序を [ファイル名] でソートして表示 (Sorting)    |
| /SB                                                       | [拡張子を「主」、ファイル名を「従」]                      |
| /SD                                                       | [作成日時]                                   |
| /SL                                                       | [ファイル長]                                  |
| /SC                                                       | [キャンセル] 検索時の並びに戻す                        |
| ソートキーは2つまで設定できる<br>例 [ /SRN ] ファイル名でソート(従)、そのあと拡張子でソート(主) |                                          |
| /Tn                                                       | マウス移動時のウェイトを設定(加速性をだすため) (Time)          |
| (n = 0~1000)                                              | デフォルトは30                                 |
| 処理速度の遅い機種では動きがごちかくなる場合があるので0に設定                           |                                          |
| /Wn                                                       | 表示ウィンドウ幅の設定(n = 17~76) デフォルトは76 (Width)  |
| /Zn                                                       | ウィンドウ・ズーム・ピッチの設定(n = 1~40) デフォルト1 (Zoon) |
| ファイルのコピーをひんぱんに行う場合、値を大きく(40程度)しておくとウィンドウの切り替えが高速になる       |                                          |
| /?ファイル名(ワイルド・カードを含む) (?=Serch)                            | 指定したファイル名だけを表示(検索表示)                     |

|                      |                                                 |
|----------------------|-------------------------------------------------|
| 【メニューの説明】            |                                                 |
| 【メニューによるコマンド選択】      |                                                 |
| ポップ・アップ・メニュー(PM)     |                                                 |
| マウス右クリックを押し続ける必要はない  |                                                 |
| または、「m」コマンド(f:10)で選択 |                                                 |
| メニューの選択コマンドキー        |                                                 |
| [2]                  | [0 = マウス] [1 = 棒移動] [2 = 左上隅] [3 = 右下隅] [:] [q] |

けはGOODだし(データ読み込みのためのアキ時間がないというのがすごい)フィンキはとってもバグンだし...について、アドベンチャーゲームはここまで来たんですね。P.S.どなたか横浜市内のパソコンショップを教えてくださいませんか。秋葉原はよくわかるのですが... (ニコライ・M・ツルリコフ)

## 〈活用例〉

### ダウンメニュー（「M1」～「M6」）

メニューバーの上で「マウスをクリック（押し続ける必要はない）」または、「[1]～[6]コマンド（f-1～f-6）」で選択  
各メニューの選択コマンドキー  
M1 ( <H> <H> <H>+SFT <q> <q>+SFT )  
M2 ( <T> <J>+SFT <J> <B> <+> <+>+SFT <-> <->+SFT <T>+GRP )  
M3 ( </> <P> <W> <D> <D>+SFT <S> <A> <+>+SFT <V> <+>+SFT <I>+SFT <+>+CTRL <I>+CTRL <+> )  
M4 ( <J> <e> <U> <J> <Y> <G> <G>+SFT <G>+CAP <G>+SFT+CAP )  
M5 ( <?> <?>+SFT <C> <C>+SFT <K> <R> <N> <E> <@> <@>+GRP )  
M6 ( <P> <O> <I> <I>+GRP <I>+SFT <X> <Y> <M> <M>+SFT <H>+GRP <D>+GRP <C>+GRP <L> )

- ◇ マウスで移動しクリックで確定
- ◇ [↑] [↓] で移動し 確定 (Return) または [:] キー)
- ◇ 数字キーまたは英文字キーで直接確定
- ◇ マーク外で確定した場合コマンドはキャンセルされる

### 〈メニュー選択以外でのマウス使用〉

- ヘルプ画面表示 : 右上隅の [HELP] 文字上を左クリック
- ファイル指定 : アクティブ・ウィンドウ内のファイル上を左クリック
- 半ページ巻上げ : アクティブ・ウィンドウの枠下を左クリック
- 半ページ巻下し : アクティブ・ウィンドウの枠上を左クリック
- ウィンドウ変更 : 他のスリープ・ウィンドウ内を左クリック
- ウィンドウ拡張 : [c] コマンドで変更、またはポップメニューの234選択により、マウス操作でウィンドウの拡大・縮小・移動を行う
- 数字文字列入力 : 画面上の表示文字（半角文字またはマウス用に表示されたキーボード上全角文字）上を左クリックするとその文字が入力される（入力される文字は半角数字英大文字）  
[取り消し] は [←] 上を左クリック  
[確定] は [↓] 上を左クリック または右クリック

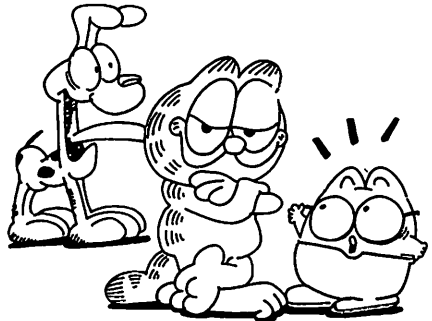
### 〈マクロ・コマンド〉

- [A]～[Z] [a]～[z] [0]～[9] [.] [ / ] [:] などのコマンド群を含む文字列を順次取り込み、コマンド実行する
- (1) 指定文字列より取り込む …… スイッチ[/K]  
(2) 指定したファイルより取り込む …… スイッチ[/L]
- 〔補足機能〕
- ◇ タブ・リターンなどのスペース [ ] より小さいコード (00～1F) は無視する
  - ◇ テキストロフィ間 ([ ] から [ ] までの部分) は注釈文とみなし無視する
  - ◇ # はメニュー1～6選択指定をわかりやすくするためのダミーコマンドで付けなくてもかまわない
  - ◇ s, a, k, g, t は以下のキー押下を意味する  
s → [SHIFT] a → [CAPS] k → [fn] g → [GRPH] t → [CTRL]
  - ◇ w は マクロ実行の休止時間を0～100 (100ms単位) の範囲で設定する
  - ◇ . は 数字コマンドと指定数字を区切るためのダミー記号

### 〈活用例〉

- 1 すばやく移動  
(1) [F] コマンドを実行し、ディレクトリ名のみを表示  
(2) 目的のディレクトリに移動 ([SHIFT] 押下で高速スクロール)  
(3) [F] コマンドを実行し、ファイル名を再表示
- 2 階層的ディレクトリを含むファイルのコピー  
(1) アクティブ・ウィンドウ(1)で目的のファイルまたはディレクトリに移動し [C] コマンドを実行する。ファイルを指定した場合は1個コピーする  
ファイルを指定し、以降のファイル・ディレクトリをコピーしたい場合は [SHIFT] キー押下で [C] コマンドを実行する  
任意のファイルだけをコピーしたい場合は、あらかじめ [ @ ] コマンドでマークを付けておく  
(2) ウィンドウ(2)でファイルまたはディレクトリを選択し確定 (:) する  
コピーを始める前にマルチ・ウィンドウ表示しておいた方が操作し易い  
コピーできない場合エラー・メッセージが表示される
  - ・ ディスクの空き容量が0 (コピー先の空き容量は随時表示される)
  - ・ ディレクトリがすでに存在する
  - ・ ファイルの呼出が禁止されている
 [ESC] キーで中止、他のキーで続行
- 3 階層的ディレクトリを含むファイルの削除  
(1) 目的のファイル名またはディレクトリ名に移動し [K] コマンドを実行する  
(2) 確認して、OKなら [Y] を押す。ディレクトリを指定した場合は、中のファイル・ディレクトリを全て削除するので要注意  
ESCキーで中断  
削除できない場合エラー・メッセージが表示される
  - ・ ファイルがリード・オンリ・ファイルである
  - ・ ディレクトリが空でない (ファイル名が画面に表示されていない場合あり)
 [ESC] キーで中止、他のキーで続行

- ※ MS-DOS以外のメディアを検索しファイル変換をする場合、変換プログラムの呼び出しをするので起動ディスクを抜かないようにしてください
- ※ 異常終了により画面がみだれたままの場合 XDIR を再起動して、正しく終了させてください



## New Products 全ピン切り換え式データ・スイッチ

メルコから全ピン切り替え式のデータ・スイッチが、セントロニクス用と、RS-232C用の、2シリーズ8タイプが発売されます。

### 〈特徴〉

- 全ピン切替式のため、接続機種を選ばない。  
機種異なるパソコン間でのプリンタの共有や、幅広い周辺機器の接続が可能。
- 双方向接続が可能。  
2対1が1対2に、3対1が1対3になるなど、組み合わせが自由。

### 〈価格〉

MDP-21 ￥9,800

|        |         |
|--------|---------|
| MDP-22 | ￥12,800 |
| -31    | ￥12,500 |
| -41    | ￥14,800 |
| MDS-21 | ￥9,800  |
| -22    | ￥12,800 |
| -31    | ￥12,500 |
| -41    | ￥14,800 |

### 〈問い合わせ先〉(株)メルコ

〒460 名古屋市中区大須4-11-50 カミヤビル  
☎(052)251-8365